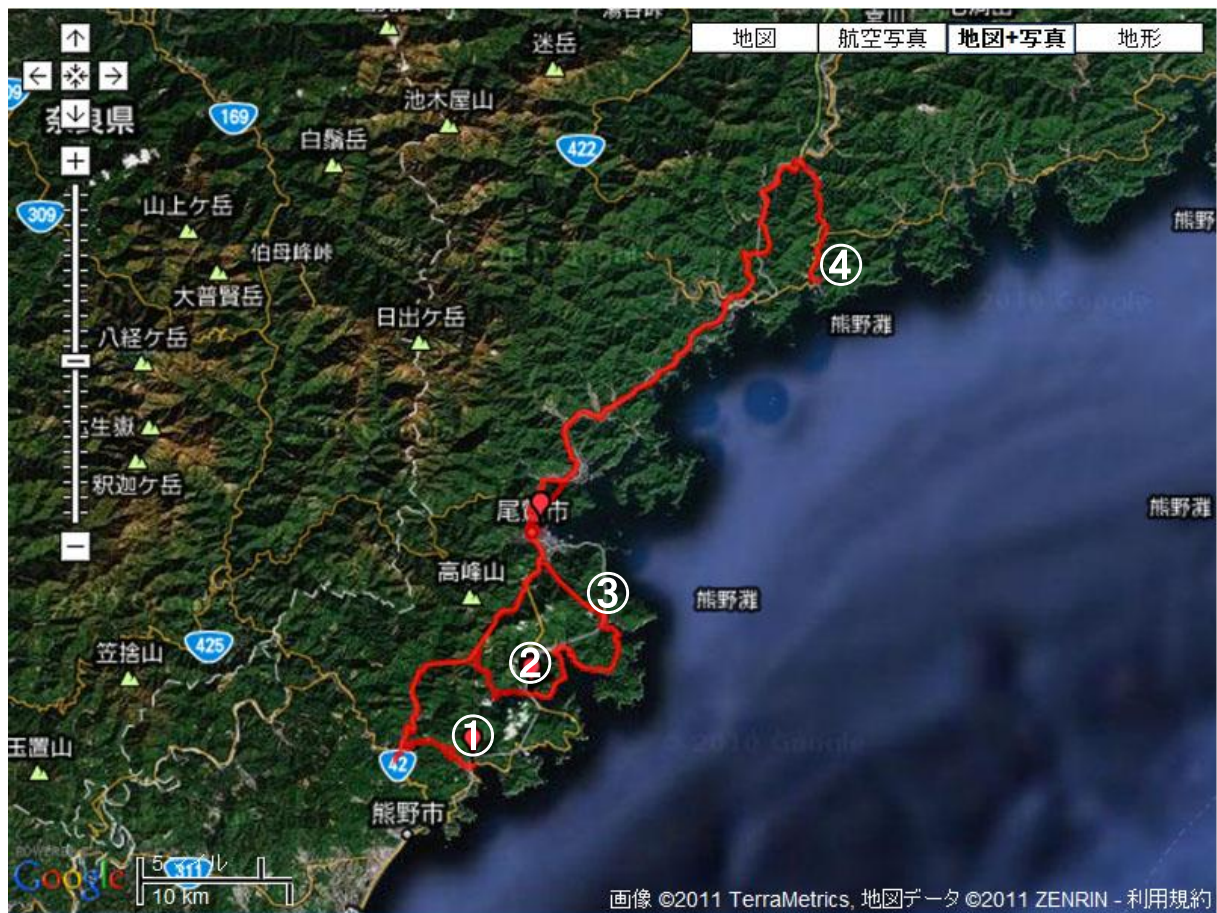


## 東北地方太平洋沖地震津波被害調査（三重県南部地域）

日 程：2011年3月15日(火)

場 所：熊野市新鹿町，尾鷲市賀田町，尾鷲市九鬼町，度会郡大紀町錦

参加者：水谷法美，川崎浩司，李光浩，中村友昭，Lai Jian-Wu（名古屋大学）



### ①熊野市新鹿町





被害状況：なし

津波高さ：1m 強（目視・聞き取り調査）

津波痕跡：なし

聞き取り調査：

- ・毎年9月1日に避難訓練。
- ・砂浜に津波避難タワーがあるが、町民は使用しない。海水浴利用者用。
- ・津波避難のため、「海抜〇〇m」のマーク（青：安全，黄：注意，赤：危険）が設置されているが、東北地方太平洋沖地震津波の被害状況を見て、マークの見直しを3月15日に検討予定。
- ・聞き取りをした方の家（避難場所に指定）に10数名が避難。他の家にも避難していた。
- ・地域住民の防災意識は高い。小中学校でも防災教育を実施。

## ②尾鷲市賀田町



被害状況：ほぼなし（1隻転覆）

津波高さ：1m 強（目視・聞き取り調査）

津波痕跡：なし

聞き取り調査：

- ・毎年9月1日に避難訓練。9班に分かれて対応。
- ・津波発生約40分後に避難。
- ・当日、水門は全閉。津波の高さは2004年東海道沖地震津波のときより小さい。2004年の時は、

水門前面で氾濫しそうだった。

- ・1944年東南海地震による津波被害後、高所に家屋が移動。湾周辺の家屋は比較的新しい。現在、湾周辺に住んでいる人の一部は高台にも家屋を持っている。

③尾鷲市九鬼町

被害状況：なし

津波痕跡：なし

備考：2004年9月5日に発生した東海道沖地震津波で唯一人的被害があった場所。

④度会郡大紀町錦

被害状況：なし

津波痕跡：なし

備考：錦タワーだけでなく、町の至る所に津波避難場所が設置。